

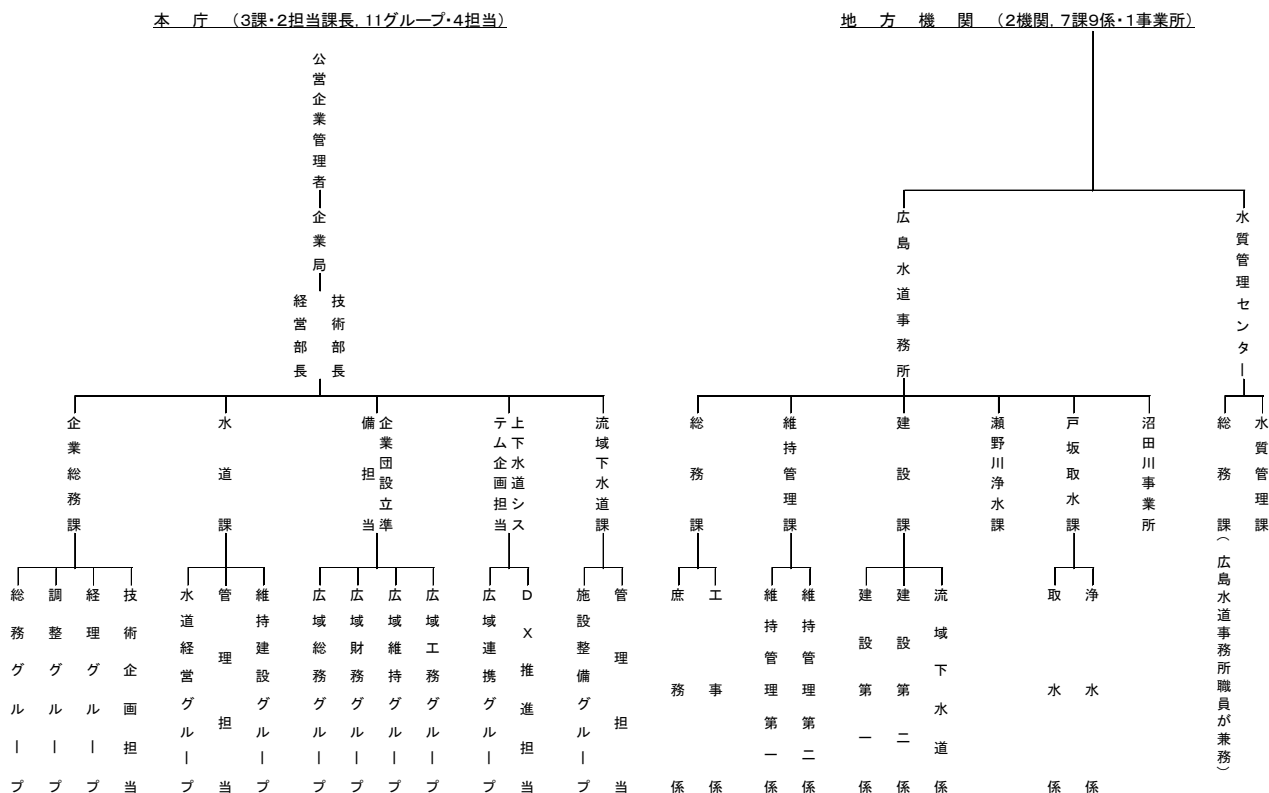
## 令和4年度企業局の概要

I	企業局の行政組織	1
II	令和4年度当初予算の概要	
1	総括表	2
2	主要事業	
(1)	水道広域連携推進事業	3
(2)	上下水道DX推進事業	4
(3)	二期トンネル（海田・呉トンネル）整備事業	5

# I 企業局の行政組織

(令和4年4月1日現在)

## 1 組織図



## 2 職員現員表

(単位: 人)

区分	現員							再任用職員	合計	派遣	職員総数
	行政職										
	事務	技術									
	土木	電気	機械	化学	衛生	小計					
本庁	企業総務課	14	3	1	1	1	6		20	14	34
	水道課	7	4	5	1		10		17		17
	企業団設立準備担当	5	3	2	3		8		13		13
	上下水道システム企画担当	1		3	1	1	5		6		6
	流域下水道課	3	3	2			5		8		8
	小計	30	13	13	6	2	0	34	0	64	14
地方機関	広島水道事務所	8	21	24	6		51	3	62		62
	水質管理センター					4	4		4		4
	小計	8	21	24	6	4	0	55	3	66	0
合計	38	34	37	12	6	0	89	3	130	14	144

※ 公営企業管理者は除く。企業総務課には、経営部長及び技術部長を含む。

### 派遣の内訳

民間・公社派遣	(株)水みらい広島	下水道公社	合計
職員数(人)	4	10	14

### 職員数(現員)の推移

年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
企業局職員数(人)	145	139	144	141	139	131	126	151	150	151

## Ⅱ 令和4年度当初予算の概要

### 1 総括表

(単位：千円, %)

区	分	令和3年度	令和4年度	前年度当初比較		備考	
		当初予算額 A	当初予算額 B	増減 B-A	伸率 B/A		
企	工業用水道事業会計	収益的収入	3,134,500	2,936,015	△ 198,485	93.7	給水収益の減
		収益的支出	2,966,996	2,845,881	△ 121,115	95.9	
		収支差引	167,504	90,134	△ 77,370	53.8	
		資本的収入	1,277,213	894,373	△ 382,840	70.0	企業債借入の減
		資本的支出	2,404,124	1,672,098	△ 732,026	69.6	
		うち建設工事費	1,753,709	994,034	△ 759,675	56.7	強靱化対策事業費の減
	収支差引	△ 1,126,911	△ 777,725	349,186	144.9		
	支出予算額	5,371,120	4,517,979	△ 853,141	84.1		
	水道用水供給事業会計	収益的収入	11,449,391	11,511,187	61,796	100.5	
		収益的支出	9,445,239	9,824,732	379,493	104.0	
		収支差引	2,004,152	1,686,455	△ 317,697	84.1	
		資本的収入	3,329,194	2,174,474	△ 1,154,720	65.3	補助金の減
資本的支出		9,652,371	8,152,191	△ 1,500,180	84.5		
うち建設工事費		7,535,436	6,043,020	△ 1,492,416	80.2	強靱化対策事業費の減	
収支差引	△ 6,323,177	△ 5,977,717	345,460	105.8			
支出予算額	19,097,610	17,976,923	△ 1,120,687	94.1			
流域下水道事業会計	収益的収入	8,946,677	9,074,692	128,015	101.4		
	収益的支出	8,938,831	9,058,256	119,425	101.3		
	収支差引	7,846	16,436	8,590	209.5		
	資本的収入	2,769,886	3,513,680	743,794	126.9	国庫補助金の増	
	資本的支出	3,642,743	4,398,281	755,538	120.7		
	うち建設工事費	2,275,304	3,106,577	831,273	136.5	改築更新事業の増	
収支差引	△ 872,857	△ 884,601	△ 11,744	98.7			
支出予算額	12,581,574	13,456,537	874,963	107.0			
支出予算計	収益的支出	21,351,066	21,728,869	377,803	101.8		
	資本的支出	15,699,238	14,222,570	△ 1,476,668	90.6		
	うち建設工事費	11,564,449	10,143,631	△ 1,420,818	87.7		
	計	37,050,304	35,951,439	△ 1,098,865	97.0		
一般会計	土木費	2,698,018	2,403,643	△ 294,375	89.1	流域下水道事業への繰入金の減	
支出予算総合計		39,748,322	38,355,082	△ 1,393,240	96.5		

## 2 主要事業

### (1) 水道広域連携推進事業

#### ア 目的

施設の老朽化、人口減少に伴う料金収入の減などにより、今後、経営環境の悪化が見込まれる県内水道事業について、広域連携を推進することにより、将来にわたって安全・安心な水を適切な料金により安定供給する水道システムを構築する。

#### イ 事業内容及び予算額

- 令和3年4月に15市町と県で締結した「広島県における水道事業の統合に関する基本協定」に基づき、令和4年度の企業団設立及び令和5年度からの事業開始に向け、引き続き、準備を進める。
- 統合以外の連携を選択した6市町とは、職員研修の共同実施などの連携策について検討するとともに、実施可能なものから取り組む。

(単位：千円)

区分	内容	予算額
企業団設立準備組織の運営	広島県水道企業団設立準備協議会（会長：知事 事務局：企業局）の運営 【構成】 竹原市、三原市、府中市、三次市、庄原市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、熊野町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町、県	1,234
企業団設立及び事業開始に向けた準備	企業団設立及び事業開始に向けた手続・準備 ・水道事業認可申請書及び水利使用許可申請書の作成に係る業務 ・通信基盤・情報システムの構築に係る業務	252,783
合 計		254,017

※ 統合以外の連携策は、非予算事業として検討・実施

#### ウ スケジュール

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
統合による連携	広島県水道企業団設立準備協議会		
	基本協定締結（4月）	企業団設立準備 事業計画、企業団規約の策定 組織・管理体制の整備、住民周知等	県議会・市町議会 企業団設立議決（9月） 企業団設立許可申請（総務省） 企業団設立（11月） 水道事業認可申請（厚労省） 業務引継等
統合以外の連携	検討・調整		
	実施可能な取組から開始		

## (2) 上下水道DX推進事業

### ア 目的

上下水道事業は、浄水場や下水処理場の運転監視、管路の維持管理など多くの業務で人に依存しており、今後、職員の大量退職が見込まれる中、事業を安定して継続するために、広域連携の取組と併せ、DXを推進し、業務の一層の効率化・省力化を図る。

### イ 事業内容

- 令和3年1月に取りまとめた「上下水道DXの推進」に基づいて、水道事業に係るDXの具体的な取組を進める。

区 分	内 容
維持管理の 効率化・省力化	・ 広域運転監視システムの整備 どの施設からでも、すべての県営水道施設の運転監視や操作が可能となるシステムを整備
	・ AIによる浄水場等の自動運転化 県営白ヶ瀬浄水場において、運転監視員立会のもと、薬品注入自動化システムをテスト導入
アセットマネジ メントの強化	・ AIによる管路の劣化予測 令和3年度の試験導入による予測結果を検証した上で、劣化度予測判定ツールを導入（管路更新計画の見直しの検討などに活用）
県民サービスの 向上	・ スマートメーターの導入 令和3年度に引き続き、産学官による研究会に参画し、導入検討及び情報収集を実施

### ウ 予算額

(単位：千円)

区 分	内 容	予算額
広域運転監視システム の整備	・ 広域運転監視システム構築業務 (令和4～6年度)	[債務1,694,440] 0

※その他の取組については、非予算事業として検討・実施

### エ スケジュール

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
広域運転監視 システムの整備	仕様書作成	システム構築			稼働
AIによる浄水場 等の自動運転化	実証実験	テスト導入	実用化・導入		
AIによる管路の 劣化予測	試験導入	導入（3年ごとにデータ更新）			
スマートメーター の導入	導入検討・情報収集		導入検討・実証実験		

### (3) 二期トンネル（海田・呉トンネル）整備事業

#### ア 目的

平成 18 年 8 月に発生した送水トンネル崩落事故を踏まえ策定した「広島県営水道の送水のあり方基本計画」に基づき二期トンネルの整備を推進し、災害・事故等に強い水の供給体制を構築する。

#### イ 事業内容及び予算額

(単位：千円)

区 分	内 容	予算額
二期トンネル (海田・呉トンネル)	・トンネル整備工事 ・水文調査 <sup>※1</sup> 等	(債務：6,594,800 <sup>※2</sup> ) 2,701,681

※1 水文調査はトンネル工事に伴う地下水等への影響調査

※2 トンネル整備工事費等に係る債務負担行為（令和5～8年度）

#### ウ 進捗状況と今後の事業見通し

##### (ア) 進捗状況

- 令和3年12月末現在、トンネル延長14.3kmのうち、9.9km（進捗率69.2%）の掘削を完了しているが、想定よりも長い区間において硬い岩盤が出現したことにより、令和3年12月末の工事進捗の目標12.6kmに対し、2.7kmの遅れが生じている。

##### (イ) 今後の事業見通し

- 工事進捗に遅れが生じていることから、令和3年度に残りの掘削区間の地質調査（ボーリング調査）を実施し、今後の事業見通しを整理した。
- 地質調査の結果、軟岩及び中硬岩と見込んだ区間を硬岩と設定し、これにより、二期トンネル整備工事の完成時期は、3年延長して令和7年度末となる見込みである。
- また、全体事業費は、次の要因により、令和3年度当初予算編成時の見込みと比べ、43億円増加し、193億円となる見込みである。
  - ・ 地質変更による掘削機械のカッター交換回数の増加に伴う資材費等の増（40億円）
  - ・ 事業期間の延長に伴う水文調査費などの増（3億円）

【全体事業費（令和3年度当初予算編成時との比較）】

(単位：百万円)

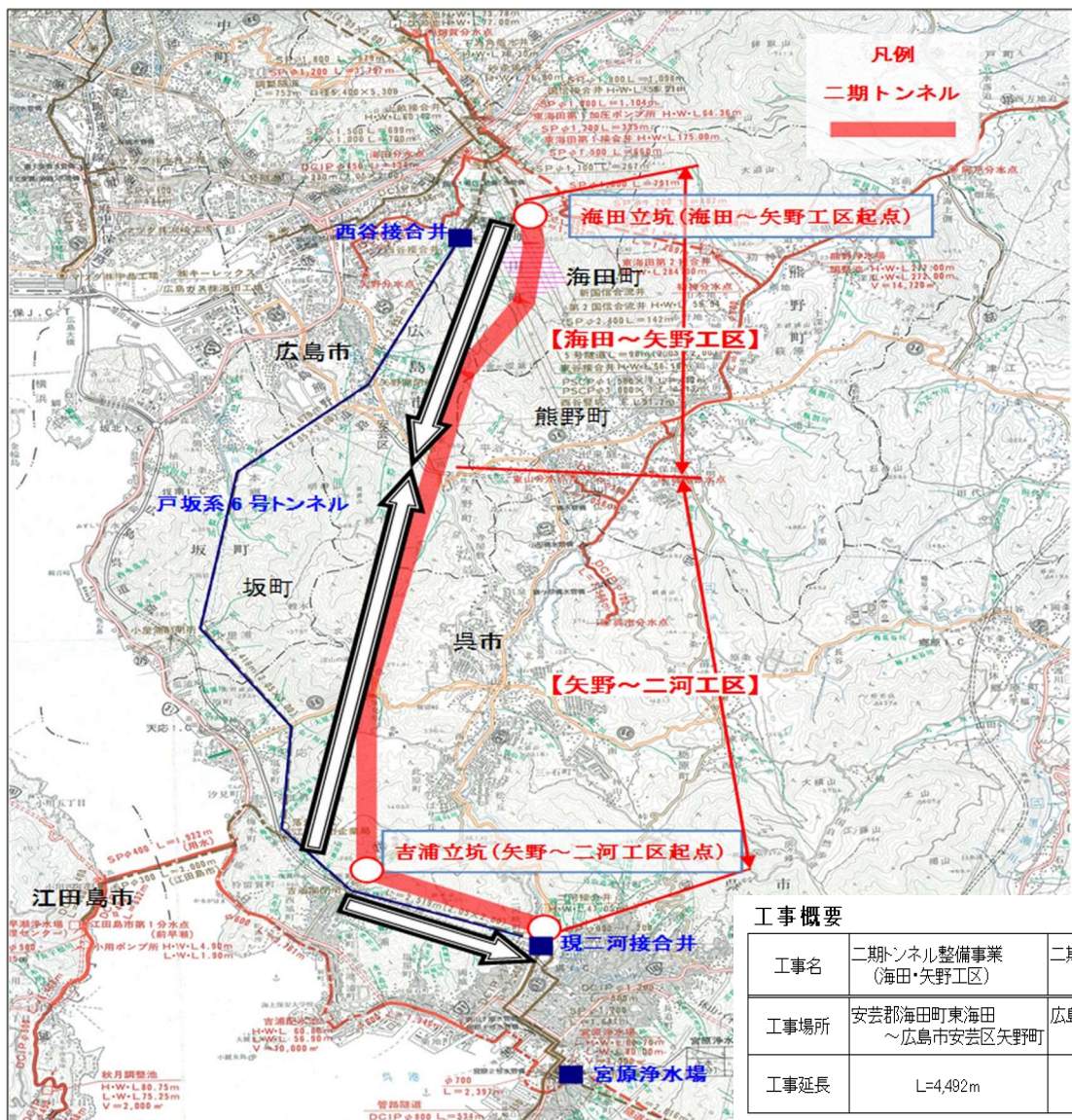
区分	H22～ R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	合計
R4 当初予算編成時 A	4,901	2,885	2,148	2,702	2,779	2,473	1,342	65	19,295
R3 当初予算編成時 B	4,901	2,736	3,430	3,914	30	-	-	-	15,011
増減額(A-B)	0	149	▲1,282	▲1,212	2,749	2,473	1,342	65	4,284

## エ スケジュール

H22 ~26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	備考
地質調査, 用地測量, 設計													
用地補償		事業損失補償											H27: 用地補償 H29~: 事業損失補償
海田立坑進入路造成		水文調査等 (期間延長)											H27~R8: 水文調査等 H27~28: 海田立坑進入路造成
		トンネル整備工事 (1工区)								(期間延長)			H28~R7: トンネル整備工事 1工区 海田~矢野 2工区 〔吉浦~矢野〕 〔吉浦~二河〕
		トンネル整備工事 (2工区)								(期間延長)			

※トンネル整備工事及び水文調査実施期間を3年延長する。

## オ 位置図



国土地理院地図の一部を使用 (承認番号 平成20 中復第106号)